

## 令和3年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験案内

－ 障がいがあり、教員を目指す方へ －

# 子供たちのために ～障がいのある教員として～



### 〈本人紹介〉

### 県立聴覚支援学校勤務

私は生まれたときから耳が聞こえず、幼稚部から高等部まで県内の聴覚支援学校（当時は聾学校）に通っていました。子供の頃からの教師になりたいという夢がかない、教員8年目になりましたが、毎日子供たちと楽しく勉強したり、遊んだりしています。

### （１）教員になろうと思ったきっかけは？

聴覚支援学校に通う中で、素晴らしい先生方に囲まれながら、心の中で私もこんな先生になりたいという思いをもつようになりました。

そんな中、大きなきっかけになったのが、東日本大震災でした。震災から数週間後、聴覚障がいのある先輩教員から、「震災に負けない」というメールが届き、そのメッセージに勇気をもらい、福島の子供たちのために頑張ろう！と強く心に決めました。

### （２）教員になって良かったことは、どのようなことですか？

子供たちが一步一步成長していく姿を目にすることが、とても嬉しいです。これが教師として最大の喜びだと思います。私自身も幼少時から聴覚支援学校に通っていたからこそ、こうして教員として働くことができたと思っています。現在、担任している子供たちと毎日過ごす中で、成長を感じる場面に出会うと、やはり教員になって良かったという気持ちになります。

### （３）障がいによる仕事への不安は、どのようなことですか？

一番苦労するのが、きこえる子供たちとのコミュニケーションです。毎日、いろいろ話しかけてくれるのですが、聞き取りにくく、口の形も読み取りにくく、円滑なコミュニケーションができない場面が多くあります。しかし、同僚のサポート（子供たちの発言内容や教員同士の細かい情報の伝達など）もあり、不安は少なくなっています。

### （４）教員を目指す障がいのある方へ一言

障がいがあることで、越えなければならない壁はたくさんありますが、多様化する教育現場において、聴覚障がいがあることは大きな武器になります。私自身、障がいがある教師として、皆さんのモデルになるのではないかと考えます。

福島県の子供たちの明るい未来と笑顔のために一緒に頑張っていきましょう！